

福岡、札幌地区で、ASBJ/FASF意見交換会を開催

企業会計基準委員会（ASBJ）/財務会計基準機構（FASF）では、地方におけるFASF会員企業、会計関係者とのコミュニケーションの強化を目的とした意見交換会を実施しています。



国際会計基準委員会（IASB）による最新の基準開発の動向やその背景、ASBJによる基準開発の経緯や内容、今後の展望など、ASBJのホームページや新聞記事、雑誌記事などだけでは伝わりにくい最新の情報を直接お伝えし、またご要望を承ることは、国内の会計基準の開発におけるASBJの役割に対する理解を深め、IFRS導入に向けた環境整備を我が国全体でフォローしていく意味でも非常に有意義なことと考えています。

今回は、1月28日に九州地区、2月2日に札幌地区において、九州経済連合会、北海道経済連合会、各地区会計関係者とそれぞれ意見交換会を実施いたしました。

意見交換会では、冒頭、高橋秀夫FASF事務局長から、FASFに対する日頃の協力への謝辞と、運営への一層の協力をお願いしたあと、新井武広ASBJ副委員長より、ASBJの活動状況として、①IASBによる基準開発の動向、②ASBJのプロジェクト計画、③最近の公表物（四半期会計基準の公開草案）、④ASBJの国際活動、⑤その他（非上場会社の会計基準に関する懇談会の検討結果等）についてそれぞれ資料に基づき説明しました。

参加者からは、会計基準を巡る今後の動向や四半期会計基準の公開草案などについて熱心に質問が寄せられました。また、国内の会計基準の開発ばかりでなく、IASBにおける基準開発にも積極的に我が国の立場を発信している役割を担っていることなど、ASBJの機能や役割についても認識を深めていただくことができました。

今後も継続して、このような取組みを実施していきたいと考えています。

